

彙 報

会則等の修正案に対する賛否票決

「会則・選挙規則改訂案」「選挙細則修正案」に対し、全委員および会長の無記名投票によって賛否を票決すべきこと、およびその管理は在京常任委員および会長が当たるべきことが、昭和50年度第2回委員会において決議されたので、次の日程によりこれを実施した。

50年11月6日 書類・投票用紙発送（あらかじめ問題点を次の4つに分けて各項目につき賛否を問うた。〔A〕会計監査委員について。〔B〕会長等が任期中に交替する場合について。〔C〕選挙管理委員会に関する新規則。〔D〕選挙細則の修正。）、11月24日 投票締切、11月29日 開票。

投票の結果は次の通り。

有権者総数 68、その過半数 35、投票者数 44、無効投票者数 1、有効投票者数の3分の2 29。

	A	B	C	D
賛 成	40	40	38	40
反 対	1	1	3	1
白 票	2	2	2	2

よって上記修正案は可決された。この修正案は51年末発行の会員名簿に公刊の予定。

昭和50年・51年度選挙管理委員の選挙

昭和50年度第2回委員会の議決に従い、上記の選挙を在京常任委員および会長の管理の下に次の日程により行なった。

50年11月29日 選挙用紙発送、12月15日 投票締切、12月20日 開票。

選挙の結果は次の通り。

有権者総数 67、その過半数 34、投票者数 37、無効投票者数 2、有効投票者数 35。

当選者：大東百合子，川本茂雄，北村甫，江実，佐藤則之，下宮忠雄，鈴木孝夫，長谷川欣佑

第 30 回国際アジア・北アフリカ人文研究会議への本会代表の選挙

上記国際会議へ日文学術会議より国費によって派遣される本会代表候補者を推薦されたき旨，全評議員，委員，常任委員に50年12月20日付書簡を以て会長より通知したところ，11名の被推薦者があったので，1月9日に全委員の無記名投票に付し，1月19日投票締切，1月23日選挙管理委員会にて開票の結果，

有権者総数 67，投票者数 44，無効投票者数 1，有効投票者過半数 22。にて，最上位得票者の得票数が上記過半数に達しなかったため，同日上位得票者西田竜雄，服部四郎両氏の決戦投票用紙を全委員に送付，2月2日投票締切，2月6日開票予定であったが，1月25日の郵便料金値上げに伴う郵便作業幅縮のため投票締切日までに用紙が未着の向きが多かったため，本選挙は無効となった。しかし日文学術会議への報告の期限が2月7日であったので，西田，服部両氏間で話し合いの結果，西田竜雄氏が代表に決定した。

常任委員の選挙

昭和51年3月末日を以て，任期1年常任委員，大東百合子，梅田博之（去る10月より51年4月まで韓国出張のため辞任。次点者の原田信一氏が後任者となる），崎山理，早田輝洋の4氏の任期が終了するので，後任者の選挙を選挙管理委員会において次の日程により行なった。2月28日 書類発送，3月13日 投票締切，3月19日に開票。選挙の結果は次の通り。

有権者総数 68，その過半数 35，投票者数ならびに有効投票者数 38。

当選者：

- B 大地区 原田信一，下宮忠雄
- C ・ 岸本通夫
- D ・ 関本 至

昭和50年度第6回常任委員会

日 時：昭和51年3月19日（金）午後1時～9時

場 所：東京言語研究所内，本会事務局

出席者：服部四郎，江実，長谷川欣佑，原田信一，西田竜雄，崎山理

欠席者：池上二良，大東百合子，早田輝洋（委任状あり）

- 議事：1) 「言語研究」バックナンバーについて。i) 事務局に保管されているものの号と冊数を調べた。ii) 在庫のすべての号を事務局に一通り揃えるため、大修館書店本会事務所に保管されているものの一部を来る3月26日に事務局に移動させることとなり、服部，長谷川，原田がこれに当たることになった。iii) 現在残っているすべての号を1部ずつ国会図書館に寄贈し，次に残るすべての号を1部ずつ本会に保存し，他を会員を優先させつつ販売することになった。iv) 販売の価格を別記（本号114ページ）のように決めた。
- 2) 50年度会計について。支出は予算と大差ないけれども，会費の納入状況が極めて悪いため赤字となる見込みであることが報告された。会費の納入を督促する方策について意見が交された。
- 3) 「言語研究」第68号（50年度分第1冊）は近日中に，第69号は4月中に発送の見込みであることが報告された。
- 4) 第71回大会の研究発表以外のプログラムの概略を作成した。

「言語研究」在庫バックナンバーの処置について

○ 第2号より第67号までの4千数百冊が東京大学文学部言語学研究室に保管されていたが，それを全部本学会のパーマネント・アドレスである大修館書店内事務所に移すことに，常任委員会において決定。昭和50年12月26日東大保管の分と大修館事務所保管の分とを，会計監査委員の監査を受けた後，会長および在京常任委員立会いのもとに移送を完了した。ただし，大修館の都合により，そのうちの一部を西新宿の本会事務局に移送した。○ 在庫のすべての号を西新宿の事務局に一通り揃えるため，昭和51年3月26日，長谷川，原田両常任委員の労力率仕により会長は大修館書店内事務所より西新宿事務局に必要な号の移送を完了した。○ 51年4月15日，会長と下宮常任委員が大修館書店の藤田悦一郎，岡田信子両氏立会いのもとに同書店内事務所在庫の各号の冊数を確かめ，ボール箱に入れて封をした。同書店に保管の責任を負わせないためである。

第72回大会（学習院大学にて。大会運営委員長は大野晋氏。）

6月12日（土）

- 公開講演(午後1時より) 語源の研究について 大野 晋
 公開討論会(午後2時10分より) 司会 大野 晋
 報告者: 松本克己 万葉仮名と上代語の母音組織
 : 服部四郎 奈良時代中央方言の母音体系
 質疑応答(午後4時頃より)

6月13日(日)

研究発表(午前9.30~12.00)

- 1) 詩の語法に関する一考察 国 広 博 子
 2) ロマンズ諸語における, 所有形容詞と定冠詞;
 指示形容詞と定冠詞との共起現象 有 吉 俊 二
 3) いわゆる回想時制を示す“de”の文法機能に
 対する再考察 渡 辺 吉 鎔
 4) 日本語受身構文再考 加 藤 雅 子

会員総会(午後1.00~1.30)

研究発表(1.30~5.10)

- 5) 使動関係を表わす状況モデル 船 山 仲 也
 6) コンピュータによる構文解析 石 綿 敏 雄
 7) 近畿アクセント型と喉頭筋電図との対応, 並び
 に第2拍母音の広狭とピッチパタンとの関係 杉 藤 美代子
 8) イラク方言の $k > \tilde{c}$, $q > g$ について 高 階 美 行
 9) 日本語とドラヴィダ諸語——特に形態素・文法
 語彙の対応について 藤 原 明
 10) 言語と宗教との諸関係 前 田 護 郎
- ◇ 本会委員・榎垣実氏は, 昭和51年2月29日死去されました。会員諸氏とともに心から御冥福をお祈りしたいと思います。
- ◇ 本会委員・倉石五郎氏は, 昭和51年5月2日死去されました。会員諸氏とともに心から御冥福をお祈りしたいと思います。

◇ 寄 附

杉藤美代子 10,000 円 (昭和51年6月2日)

学習院大学 150,000 円 (同 6月12日)

◇ 寄贈図書リスト (昭和50年11月～51年6月)

小林 淳男『言語の世界と思惟の世界』 開拓社出版部 (1976)

興津 達朗『言語学史』 大修館 (1976)

菅原 邦城『国鉄旅客列車名称の分析研究』 pp. 19

『大阪外大報』36号 (1975) 別刷

九学会連合沖縄調査委員会『沖縄—自然・文化・社会—』弘文堂 (1976)

京大人文学研究所『東洋学文献類目, 1973年度』 (1975)

国 語 学 103, 104. 国語学会 (1975, 12 ; 1976, 3)

計量国語学 75, 76. 計量国語学会 (同上)

人類学雑誌 Vol 83, No 4 ; Vol 84, No 1. 日本人類学会 (1975, 12 ; 1976, 3)

民族学研究 vol 40, Nos 2 ; 3 ; 4. 日本民族学会 (1975, 9 ; 12 ; 1976, 3)

日本民俗学 102, 103, 104. 日本民俗学会 (1975, 11 ; 1976, 1 ; 3)

宗教研究 Vol 49, Nos 3 ; 4. 日本宗教学会 (1976, 3 ; 4)

考古学雑誌 Vol 61, Nos 2 ; 3. 日本考古学会 (1975, 12 ; 1976, 2)

朝鮮学報 77, 78, 79. 朝鮮学会 (1975, 10 ; 1976, 1 ; 4)

東 方 学 51. 東方学会 (1976, 1)

東洋音楽研究 38. 東洋音楽学会 (1976, 3)

- 聖書翻訳研究 12. 日本聖書協会 (1976, 2)
- 人類科学 28. 九学会連合 (1976, 3)
- 日本学士院紀要 Vol 32, No 3; Vol 33, No 1. 日本学士院 (1974, 11; 1975, 3)
- 日本学術会議月報 Vol 16, Nos 9; 10; 11; Vol 17, No 2.
日本学術会議 (1975, 10; 11; 12; 1976, 2)
- 昭和49年度国立国語研究所年報 26. 国立国語研究所 (1975, 9)
- 逐次刊行物目録 (昭和48年版) 国立国会図書館 (1975, 11)
- 北方文化研究 9. 北大北方文化研究施設 (1976, 3)
- 通信 25, 26. アジア・アフリカ言語文化研究所 (1975, 11; 1976, 3)
- アラブ語学研究 I. ^{東京} 外国語大学アラビア語学研究室 (1975, 3)
^{大阪}
- Sophia Linguistica I. 上智大学 (1975)
- 都大論究 13. 東京都立大学国語国文学会 (1976, 4)
- 人文論叢 1975. 東京工業大学 (1975, 12)
- 電気通信大学学報 39. 電気通信大学 (1976, 2)
- 史苑 117, 118. 立教大学史学会 (1975, 11; 1976, 3)
- Lexicon 4. 岩崎研究会 (1975, 6)
- 新潟大学教育学部紀要 17 (人文・社会科学編) 新潟大学 (1976, 3)
- Philologia 8. 三重大学外国語研究会 (1976, 3)
- 主流別冊 Robert H. Grant 先生追悼号 同志社大学英文学会 (1975, 9)
- 言語文化研究 II. 大阪大学言語文化部 (1976, 3)
- 大阪教育大学英文学会誌 21. 阪教大英語英文学教室 (1976, 3)
- 研究論集 23. 関西外国語大学 (1975, 12)
- 研究報告 Vol 1, No 1. 国立民族学博物館 (1976, 3)
- 甲南大学紀要文学編 18, 21. 甲南大学 (1976, 3)
- 広島大学文学部紀要 35; 特別号 1; 2; 3. 広島大学 (1976, 1; 1975, 11)
- 山口大学教養部紀要 9. 山口大学 (1975, 10)
- 山口大学文学会誌 26. 山口大学文学会 (1975, 11)
- 放送文化 1975, 9~12; 1976, 1~6. N H K
- カナノヒカリ 1975, 11~12; 1976, 1~6. カナモジカイ

- エスペラント 57, 1. 日本エスペラント学会 (1976, 1)
- Graphication 1975, 11 ~ 12; 1976, 1, 3 ~ 5. 富士ゼロックス㈱
- Ligeti, Louis: *Les Douze Actes du Buddha, Arban Qoyar Jokiyanaḡui*
Ūiles de Čhos-kyi 'Od-zer, Traduction de Šes-Rab Sen-ge, Monumenta
 Linguae Mongolicae Collecta V, Budapest, 1974.
- Hammarström, G.: *Linguistic Units and Items*, Berlin-Heidelberg, 1976.
- Moshinsky, Julius: *A Grammar of Southeastern Pomo*, Univ. of Calif.
 Publications, Linguistics 72, 1974.
- Jacobs, Roderick A.: *Syntactic Change, A Cupan (Uto-Aztecan) Case*
Study, Univ. of Calif. Publications, Linguistics 79, 1975.
- Teng, Shou-hsin: *A Semantic Study of Transitivity in Chinese*, Univ.
 of Calif. Publications, Linguistics 80, 1975.
- Gauntlet, J.O.: *A Descriptive Study of Received Pronunciation Variants,*
With Special Reference to Unstressed Vowels, Section I Treatise;
 Section II Lists, The Phonetic Society of Japan, 1974.
- Samuel E. Martin: *A Reference Grammar of Japanese*, Yale Univ. Press.,
 1975.
- Honga, J., Sinyella, M., and Yamamoto, Akira Y.: *Syntax and Semantics*
of Possession — Walapai —, pp. 12, 1975.
- Bondsdorff, Bertel von: *The History of Medicine in Finland 1828-1918*,
 Helsinki, 1975.
- Nam Cao: *Ochi*, Kiiiv, 1975.
- Descriptive and Applied Linguistics, Vol 9, 1976, Intern'l Christian Univ.,
 Tokyo.
- Acta Asiatica, 29, 1975; 30, 1976, The Toho Gakkai.
- Oriental Culture Research, Vol 2, 1975, Kyungpook National Univ., Daegu.
- Bulletin of the School of Oriental and African Studies, Univ. of London,
 Vol 38 Part 2; 3, 1975; Vol 39 Part 1, 1976.
- Annual Newsletter of the Scandinavian Institute of Asian Studies, No 8,

- 1974, Copenhagen.
- Literature, Music, Fine Arts : German Studies, Section III, Vol 8, No 2, 1975, Tübingen.
- Die Sprache, Zeitschrift für Sprachwissenschaft, 21, 1, 1975, Wien.
- Wissenschaftliche Zeitschrift der Univ. Rostock, Gesellschafts- und Sprachwissenschaftliche Reihe, XXIII, 4/5 ; 6/7 ; 8 ; 9 ; 10, 1974 ; XXIV, 1 ; 2, 1975.
- Russkij Jazyk v Shkole, 6, 1975 ; 1, 2, 1976, Moskva.
- Russkaja Literatura, 4, 1975 ; 1, 1976, Leningrad.
- Vestnik Leningradskogo Universiteta ; Istorija-Jazyk-Literatura, vyp. 4, 1975 ; vyp. 1, 1976, Leningrad.
- Movoznavstvo, 6, 1975 ; 1, 2, 1976, Kiiv.
- Ukraińs'ka Mova i Literatura v Shkoli, 11, 1975 ; 1, 2, 3, 4, 5, 1976, Kiiv.
- Nashe Rhech, 3, 4, 5, 1975, Praha.
- Slovo a Slovesnost, 3, 4, 1975 ; 1, 1976, Praha.
- Archív Orientální (ArOr), 3, 4, 1975, Praha.
- Papers and Studies in Contrastive Linguistics, Vol 1, 1973, Poznań.
- Glottodidactica, An International Journal of Applied Linguistics, Vol 5, 1971, Poznań.
- Studia Anglica Posnaniensia, Vol 3, Nos 1-2, 1971, Poznań.
- Studia Germanica Posnaniensia. 1, 1971, Posnań.
- Studia Rossica Posnaniensia, 3, 1972, Posnań.
- Studia Romanica Posnaniensia, II, 1973, Posnań.
- Studia Polonis Tyczne, II, 1975, Posnań.
- Sienicka, Marta. : *The Making of a New American Poem*, 1972, Posnań.
- Catalogue of the Publications*, Uniw. im. Adama Mickiewicza w Poznaniu, 1968, Posnań.

昭和 50 年度会計報告

《収	入》	《支	出》
前期繰越	452,147 円	刊行経費	1,434,245 円
会費収入(現金)	401,130	発送料	169,789
・ (振替貯金)	999,580	大会関係費	124,600
・ (普通預金)	210,285	通信費	71,502
借入金	482,280	事務用品費	64,235
雑誌売上	92,235	印刷費	32,844
補助金	260,000	交通費	12,170
受取利息	23,324	九学会連合会費	20,000
寄付金	1,000	C I P L 寄付金	61,950
		委員会費	175,995
		常任委員会費	285,640
		編集費	61,159
		選挙等費用	37,490
		事務所賃借料	65,000
		事務局員等謝金	452,660
		雑費	29,305
		次期繰越	△176,603
計	2,921,981 円	計	2,921,981 円

正 誤 表

第 68 号, 14 ページ, 17 行
第 69 号

言語学は、→ 言語は、

39 ページ, 2 行

件わずに → 伴わずに

47 ページ, 12 行

米, 米 → * , *

・ ページ, 13 行

米と米 → * と *

56 ページ, 10 行

「音声その本質と機能」……朝倉書房

→ 「音声——その本質と機能」…朝倉書店

『言語研究』バックナンバー在庫案内

『言語研究』のバックナンバーのうち次の各号の在庫がありますので、ご希望の方には、下記の価格でお頒けいたします。下記は送本の場合の価格で、西新宿の事務局で販売の場合は、カッコ内のように各冊300円の値引きとなります。(1～33, 35, 56, 58, 59, 60号の在庫はありません。)

34号—36号 各号 ㊦ 1000 (㊦ 700)

37号—50号 " ㊦ 600 (㊦ 300)

51号—63号 " ㊦ 800 (㊦ 500)

64号—65号 " ㊦ 1000 (㊦ 700)

66号—69号 " ㊦ 1500 (㊦ 1200)

なお西新宿の国会事務局でのお取り扱い、木・金の午前10時～午後5時にお願いたします。

- ◇ 本誌は文部省昭和51年度科学研究費補助金の交付を得て刊行されたものである。